

北ア広 20 ご第 8 号
平成 20 年 6 月 16 日

白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会
会長 宮田温巳 様

北アルプス広域連合
広域連合長 牛越 徹

ごみ処理施設建設費についての公開質問状への回答

平成 20 年 4 月 28 日付でいただきました「ごみ処理施設建設費についての公開質問状」に対する回答を下記のとおり送付いたします。

記

- 1.耐震設計にもとづく熱回収施設建設工事費をご提示ください。
- 2.今回の確認調査及び過去に行った周辺の地質調査結果を条件とした耐震基礎工事費をご教示ください。
- 5.その他詳細な調査が必要とされる地質調査、姫川の浸水対策を折込んだ造成工事、等の費用も見直し、改めて内訳と総事業費をご提示ください。

回答 1, 2, 5 共通

「ごみ処理施設候補地に係る住民説明会主な質問に対する広域連合の考え方」15 ページでご説明したとおり、「ごみ処理施設整備に係る住民説明会資料」でお示しした想定事業費は、一般的な金額で計上しています。

この想定事業費は、平成 18 年 7 月に焼却炉メーカーに対して平成 10 年度から平成 16 年度までのごみ処理施設の新設実績を調査し、施設規模と日処理能力 1 トン当たりの事業費の相関を求め、処理能力 52t/日のときの事業費を算出したものです。なお、その後ごみ処理施設基本計画では施設規模を 48t/日としておりますが、想定事業費は概算であること、また、「ごみ処理施設整備に係る住民説明会資料」23 ページ及び 24 ページでご説明しましたとおり、施設規模はごみの減量・資源化施策の効果を見極めた上で設定する必要があり、発注段階まで見直しを行うこととしていることから、想定事業費は変更しておりません。

ご質問にありました詳細な事業費を積算するためには、あらためて詳細設計を行う必要があります。

また、耐震設計については、管内ではどの場所に設置しても耐震構造は必

須となりますが、費用を積算するためには建設場所での地質調査が必要です。

これらの作業は、施設について皆様のご理解をいただいた後に進めていく予定であるため、現時点では、先にお示しした想定事業費しか持ち合わせておりません。

なお、住民の皆様から詳細な工事費の提示についてご要望があり、また、地質調査及び詳細設計をすることについてご理解いただければ、あらためて事業費を積算し、その内訳と事業費をご提示いたします。

3.大町市及び白馬・小谷村の既設ごみ焼却施設それぞれの撤去費をご教示ください。

回答 3.

詳細な積算は実施しておりません。

なお、最近の解体実績では処理能力 1 トン当たり平均約 500 万円程度となっております。

4.リサイクルセンターの建設工事費が、240M¥となっておりますが、施設内容とその工事費をご提示ください。

回答 4.

当広域連合でお示しした金額は、約 2 億 6100 万円(税込み)であり、その内訳とその工事費は以下のとおりです。

不燃ごみ処理施設一式 :2.0 億円

必要施設規模 5.7t/日破砕機は高速回転式破砕機とする。

想定処理フローは「ごみ処理施設基本計画」63 ページに記載のとおりです。

ペットボトル及び容器包装プラスチック圧縮施設建屋(資源ごみ保管場所含む。) :5,400 万円

ペットボトル及び容器包装プラスチック圧縮梱包機(共用)
:700 万円

ペットボトル 必要施設規模 0.43t/日(1 日平均 3 時間稼動)

容器包装プラスチック類 必要施設規模 0.72t/日(1 日平均 5 時間稼動)